

スマートフォンの日々

目代純平

13 定額制配信サービス

smart life
with
smartphone

その便利さに溺れずに 音楽や映像を楽しもう

約1年間にわたってスマートフォン誕生からその発展、使い道や問題点などについてご紹介してきましたが、とうとう最終回となりました。今回は最近急激に増えてきた「定額制サービス」についてご紹介しつつ、今後スマートフォンを使う上でどのような点に気をつけていけばいいかを考えてみたいと思います。

OSの進化により 省電力化、高速化

初期の頃のスマートフォンは本当に形ばかりで、見た目こそ現在のものとはほとんど変わりませんでしたが、性能は最新モデルと比べると雲泥の差で、処理速度や電池の持ちなどどれを取ってもまだまだ発展途上でした。

最初のスマートフォンの誕生から既に5年近い年月が経ちましたが、その性能が安定し、実用的な域に入ってきたのは去年の冬モデ

著者略歴 ● もくだいじゅんぺい

1976年10月28日生まれ、東京都出身。大学4年在学中にチェックフィールド株式会社（現在代表取締役）を興す。中小・中堅規模法人向けのIT運用コンサルティング、運用管理代行を中心に行う傍ら、「安全なケータイ・インターネットの使い方」をメインテーマに講演活動。著書に「子どものための『ケータイ』ルールブック（総合法令出版；2012年）」。
東京都認定eメディアリーダー

ルぐらいからではないでしょうか。最新のスマートフォンでは処理速度も不満なく、通常の使い方では電池もほぼ1日持つので、途中で充電できる場所を探さなくてはならない不安はほぼなくなりました。もっともこれに関してはスマートフォン機器本体の進化はもちろんです。その制御を掌るiOSやAndroidなどのOSも同時に進化していることに起因しています。OSにおける消費電力の管理や画面の明るさの制御などが的確になったことによって高速化、省電力化が実現しつつあるともいえます。パソコンも同様ですが、最近の情報機器は、機器本体であるハードウェアだけでは何もできず、それを制御・調整するソフトウェア

であるOSとセットになって機械
本来の性能を果たすものがほとん
どです。ですから、OSのバージ

ョンアップによって今までなかっ
た機能がいきなり実装されたりす
ることもよくあります。

「定額」の魅力を「ストリーミング」で

データ保存せずに リアルタイム視聴

大手の携帯電話会社が通話料定
額のプランを開始して約1年が経
過しました。今やケータイやスマ
ートフォンはどこにかけても定額、
という概念が定着しつつあります
が、ここに来て脚光を浴びてきた
のが音楽や映像などの定額制配信
サービスです。これらのサービス

は急激に増えてきており、それに
伴って利用者も増えているよう
です。サービスを提供しているサイ
トは国内外に多くありますが、今
回は主なものをご紹介しますが、今
います。

今までは音楽にしても映像にし
ても一度、スマートフォンやPC
などに全てのデータを取り込んで
再生するというのが一般的でした
が、これらの定額制配信サービス

は主にストリーミングという方式
で視聴します。

ストリーミングとは、自分の端
末にはデータを保存せず、インタ
ーネットに接続したまま、リアル
タイムにサーバー上の音楽や映像
を聴いたり見たりするような方法
のことで、昨今どこにいても高速
なインターネット接続が手に入る
ようになったので実現できるよう
になったと言えるでしょう。イメ
ージとしてはYouTubeの動画を視
聴するような感覚です。

データ取り込み 視聴する「方式」

サーバー、CD、その他から一



【データを一旦端末に保存してから視聴するイメージ】



【ストリーミングで視聴するイメージ】

度端末にデータをコピーして再生。

〈メリット〉

- ▼一度端末にデータを取り込めばいつでも再生できる。
- ▼何回再生しても通信費用がかからない。

〈デメリット〉

- ▼毎回再生したいデータを全て取り込む手間がかかる。
- ▼取り込んだデータによって端末のメモリー容量が消費される。

手間がいらぬ 「ネット接続」で

端末にはデータをコピーせず、
インターネットに接続した状態で
サーバーからデータを取り込みな
がら再生。

〈メリット〉

- ▼毎回サーバーに接続して検索した音楽や映像がすぐ再生できるので、取り込む手間がかからない。
- ▼端末にはデータを保存しないので、メモリー容量を圧迫しない。

〈デメリット〉

- ▼再生するには必ずインターネット接続が必要。
- ▼キャリアの回線を使ってたくさん視聴すると、すぐにパケット代金の上限に達してしまいます。(Wi-Fiを

100万曲以上を 素晴らしい音質で

今回音楽の定額制配信サービスをご紹介します。私ども実際にサービスに登録してみました。本当に画期的で素晴らしいものであると実感しています。ふと聴きたくなった曲が、その時の気分に合わせてどこにいてもすぐに聴けるのです！まるで全ての曲が聴き放題のCDショップにいるような感覚です。

今まで様々な便利なインターネットのサービスを見てきましたが、久しぶりに非常にわくわくして感動さえ覚えています。現段階では各社共に100万曲程度の配信ということになっていますが、これだけでも好きなアーティストや聞きたい曲はほとんどあると言っても過言ではない充実ぶりです。

また、各社ともにレコード会社や音楽配信会社が有料で公式に行っているサービスですので、今までインターネット上にはびこっていた海賊サイトやYouTubeなどの個人が違法にアップロードしていたものと違い、音質もいいですし、

曲が途中で途切れるようなこともありません。

各社共に無料で数か月間サービスを試せるキャンペーンを行っていますのでぜひお試しください。これからはこれからの会員になって毎月千円程度の会費を払っていれば、CDを買わなくても全ての音楽が手に入るのです。

音楽を聴くなら

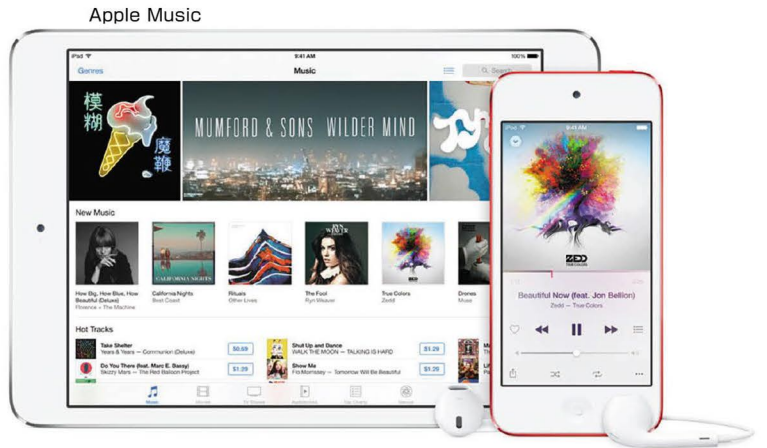
実際に使用しながら各社のサービスを比較してみました。楽曲を提供しているレコード会社や権利などの関係で収録されているアーティストや曲もサービスによって若干違いますし、「邦楽に強い」「洋楽に強い」などの特徴もあるようです。無料期間中にそれぞれを試してみて、自分が聴きたいジャンルの曲が多いところと契約をするようにすればいいですね。

Apple Music

現段階ではiOSのみ対応

月980円で数百万曲

Appleが提供を始めた音楽定額制配信サービスです。利用料金は税込980円/月。現段階でも



数百万曲が聴けるようになっていきます。現在はiOSのみの対応ですが、今秋以降にAndroidにも対応する予定です。

iPhoneの元となったiPodは元々音楽プレイヤーだったこともあり、それらを一括して管理できる万能ソフトウェア「iTunes」から検索利用ができます。

LINE MUSIC

iOS/Android両方対応

ソニーなどが共同出資

LINEとエイベックス・デジタル、ソニー・ミュージックエンタテイ

ンメントが共同出資したLINE MUSICが提供する、音楽定額制配

LINE MUSIC



信サービスです。利用料金は標準のプレミアムプランで税込1000円/月。現段階で150万曲以上が提供されていますが、年内に500万曲以上の提供を予定しているとのこと。

AWA

iOS/Android両方対応

好みに合わせたリスト

エイベックス・デジタルとサイバーエージェントが共同出資した「AWA」が運営する音楽定額制配信サービスです。利用料金は標



準のPremiumプランで税込1080円/月。現段階で約100万曲が提供されていますが、こちら



スマホでUSEN

USEN放送をスマホで!
1,000チャンネル以上が聴き放題!

月額490円(税別)

ルールにな
っています
(PPV・ペ
イ・パー・ビ
ュー)。
やはり動画
は大画面で楽
しみたい、と

いるという人もいるぐらいです。
ヤンネルは結構人気が高く、これ
社にない「BeTV」というコンテ
ンツがあり、このオリジナルのチ
ャネルは結構人気が高く、これ
が見たいためにdTVを契約して
いるという人もいます。

も年内に500万曲まで増やす予
定とのこと。

アプリの画面がとても洗練され
ていておしゃれな上、検索結果や
聴いた音楽からユーザーの好みを
判断し、そのユーザーが好みそ
うな選曲のプレイリストを自動で作
ってくれたりします。個人的には
このプレイリストが非常にありが
たく、好きな曲ばかりかかるので
重宝しています。

レコチョクBest

iOS/Android両方対応

日本のポップス中心

着うたでおなじみのレコチョク
が運営する音楽定額制配信サービ
スです。利用料金は税込み/98
0円/月。現段階で60年代以降の
日本のポップスを中心に150万
曲以上が提供されています。もと
もと国内で「着うた」や音楽の有
料配信をしていた会社が運営して

いることもあり、他社よりも邦楽
に強いようです。

スマホでUSEN

iOS/Android両方対応

有線放送と同じに使う

2014年11月号の本連載第6
回でもご紹介しましたが、こちら
は他のサービスとは少々性格が違
い、好きな曲を検索して聴くので
はなく、USENが提供するいわゆ
る有線放送をインターネット経由
にてスマートフォンで聴くサービ
スです。

利用料金は税込み529円/月
で、1000以上あるチャンネル
の中から好きな音楽のジャンルを
選ぶとそのチャンネルの曲がエン
ドレスで聴けます。有線放送とい
えば今まではお店で聴くというイ
メージでしたが、これがどこにで
も持ち出せるというのも画期的な
ことです。

映像を見るなら

料金が安いので 定額制には限度

音楽だけでなく、映像や動画に
関しても同様の定額制サービスが
増えてきました。こちらも仕組み
はほぼ同じで月額定額費用を支
払えば、そのサービスで提供して
いる動画が見放題というものです。
中には様々な映画やドラマなども
ありますので、音楽同様お気に入り
のサービスを見つけて入会すれ
ばいつでもどこでも視聴できま
す。完全に定額制のものは今のと
ころhuluだけのようです。

その他のサービスは月額費用が
安く抑えられている分、定額制で
見られるものは限られていて、最
新の映画やテレビ番組などに関し
ては、その都度費用がかかるとい
うルールにな
っています
(PPV・ペ
イ・パー・ビ
ュー)。
やはり動画
は大画面で楽
しみたい、と

いう人のためにスマートフォンや
PCだけでなく、家庭用のテレビ
でも見られるようになってい
るサービスがほとんどです。専用の端
末が必要なものの、スマートフォン
やタブレット画面をテレビに映す
ような仕組みのものなどいろいろ
あります。

dTV

「見放題作品」540円

NTTドコモが提供する映像配
信サービスです。ドコモが提供す
るということで、ドコモ以外のキ
ャリアを使っている人は使えない
んじゃないの?と思われるがちです
が、Docomo IDというものを取得す
ればドコモ以外でも視聴可能で
す。各コンテンツは「見放題作品」と
「レンタル作品」に分かれており、
税込み540円の月額費用を支払
えば、見放題ジャンルの番組は全
て見ることが出来ます。最新の映
画などの「レンタル作品」は2日間
レンタルして432円程度です。他
社にない「BeTV」というコンテ
ンツがあり、このオリジナルのチ
ャネルは結構人気が高く、これ
が見たいためにdTVを契約して
いるという人もいます。



充実の「完全見放題」
 Huluは完全定額見放題の映像配信サービスです。税込み1008円/月で全ての映像が視聴できます。もともとアメリカで始まったサービスということもあり、「24 [TWENTY FOUR]」や「プリズン・ブレイク」[POST]といった有名な海外ドラマが充実しています。逆に最新の映画やドラマは今の

ところほとんどないようです。その他はアニメやまんがなど子ども向けのコンテンツが充実しているという特徴もあります。最近では日本国内のドラマも充実してきたようなので、今後の展開に期待したいところですね。

楽天SHOWTIME
ジャンル別プラン選び
 ネットシヨップでおなじみの楽天が提供する映像配信サービスです。こちらは月額会費無料ですが、見たい映像の購入の仕方とレンタルビデオ並みの108円から利用できるようですが、こちらも画質の良さや視聴できる期間の長さなどで細かく価格が設定されています。

楽天SHOWTIME
ジャンル別プラン選び
 ネットシヨップでおなじみの楽天が提供する映像配信サービスです。こちらは月額会費無料ですが、見たい映像の購入の仕方とレンタルビデオ並みの108円から利用できるようですが、こちらも画質の良さや視聴できる期間の長さなどで細かく価格が設定されています。

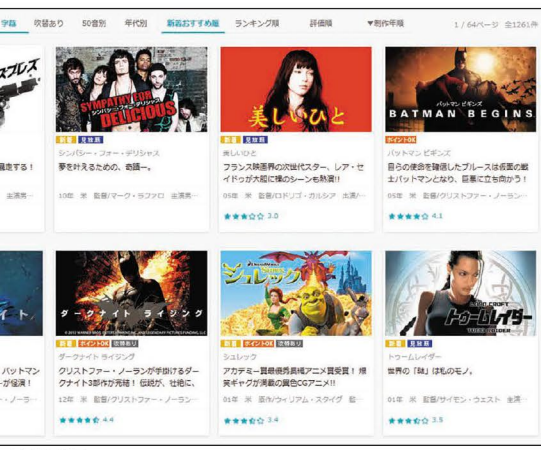
U-NEXT
2万本以上2149円
 こちらはUSENの関連会社である、U-NEXTが提供する映像配信サービスです。税込2149円/月で2万本以上のジャンルが定額見放題になります。他の最

その他にもジャンルによって数日〜1か月見放題などというプランもあるようなので、まずは自分が見たいジャンルと番組の内容を検索してみたらどのぐらい費用がかかるのか調べて見るといいでしょう。



dマガジン
432円で130誌以上
 先ほどのdTVと共にNTTド

新映画やテレビ見逃し配信などはPPVで1番組ごとに購入する形式です。定額会員になっていれば、PPV番組を視聴するためのポイントが毎月1000ポイント分もらえてお得です。PPVの料金は1番組あたり200〜500円程度です。



コモが始めた画期的なサービスがありますので、こちらもついでにご紹介しておこうと思います。dマガジンといって、税込み432円/月の定額で発売中の130誌以上の最新刊が全て読めるというものです。

こちらでもドコモ以外のユーザーでも利用できますが、週刊誌から月刊誌、専門誌までコンビニで売っている雑誌はほとんど全て網羅していると言えるほどの充実ぶりです。

会員になれば好きな雑誌をスマートフォンやタブレットでページをめくる感覚そのままに閲覧することが出来ます。広告など権利が

これからのスマホ生活

これまで13回にわたってスマートフォンのようなことについて、ご紹介してきました。技術的な進歩は目覚ましく、端末は2〜3年で陳腐化し、買い換えるようなサイクルの中でインフラが整備され、



dマガジン

絡むものや過激なグラビアなど一部収録されていないページもありますが、雑誌をよく読む方はこのサービスに入会すれば、毎月の購入費用もずいぶん抑えられると思います。

「クリッピング機能」を使えば、気になった記事や取っておきたい記事を保存しておくことも出来ますので、気になる情報も見逃しません。

高速なインターネットがいつでもどこでも使えるようになってきました。それに伴って新サービスも続々と登場してきます。快適・便利になってきています。

最新の調査によれば、高校生の

スマートフォン所持率が99%を超えたという結果が出ており、とうとう全員が当たり前に持っているという時代に突入したわけです。

「時間浪費」から「時間管理」へと

このように、まさに人類の標準となったツールをどのように有益に使いこなすかが今後の大きな課題です。スマートフォンはまさに「時間泥棒」であると改めて思いますが、ただ、ゲームや音楽、動画、SNSなどの魅力的なコンテンツがあまりにも多く、その誘惑に負けて、何か別のことをしなくてはいけない時間なのに、だらだらとスマートフォンを触って過ごしてしまったという経験をした方も多いのではないのでしょうか。

そのような意味で、これからスマートフォンと上手につきあっていくために重要なキーワードは「時間管理」ではないかと最近思い始めています。人間が使える時間は限られています。スマートフォンが誕生したからといってそれが増えたわけではないのです。

多くの人はスマートフォンを使う時間が日に日に増えていると言

っていますし、高校生の女子が1日にスマートフォンを使う時間は平均7時間を超えるという驚愕の調査結果もあります。

学生時代の依存はほんとに愚かしい

1日の中で7時間もそれに費やしてしまつたら、残りは17時間しかありません。その中で生活に必要なことを全て行うのは難しく、必然的に睡眠時間や勉強、読書などの時間を削ったりすることに、身体的のみならず様々なところに悪影響が及ぶでしょう。特に勉強やその他貴重な経験ができる唯一の時期である学生時代にスマートフォンのために時間を浪費してしまうのは本当に愚かなことだと思います。

私も専門家として引き続き状況を見守りつつ、全ての人がこの小さな機器によって心身の健康を害したりすることのないよう、対策を検討していきたいと思えます。

これで私の記事はひとまず終わりますが、この連載によってみなさまのスマートフォンライフが少しでも充実したものになったのであればとても嬉しく思います。(終)